

## 継続することの大きさ

大阪府 岡田 セツ

おかだ



八尾市で、昭和11年(1936)創業の製菓業を営んでいます。1995年のことです。バブルが弾け、百貨店3店舗以外すべて撤退し、社員も銀行も離れ、借金だけ残りました。偶然目にした雑誌に

誌にあった鍵山相談役の講演会を、聴きに行きました。「私も相談役も同じように苦労しているのに、相談役は右肩上がり、私はなぜどん底なんだろう」

掃除をしようと思いましたが、主人から「続かないからやめろ」と言われ、3か月悩みました。しかし「やるんやつたら皆でやろう」と言つてくれて、8月18日掃除開始、思えば不思議なご縁、相談役の誕生日でした。

15か月目の翌年11月、月次決算が黒字になつたのです。嬉しくて、大晦日に工場の隅で相談役に手紙を書きました。「見てもらえなくてもいいわ、大きな会社の社長さんだから」だからびっくりしました。1月2日付けの手紙

は、便箋ではなくてノートの紙に書かれていたことです。「1月に大阪城で掃除の会がある」と。参加しました。あのときの相談役の笑顔は今も忘れられません。

同年秋の、第一回ブラジル掃除に学ぶ会へご一緒しました。エコノミークラスで背筋を立てておられる姿を見て、主人も私も感動し、この方の生き方を真似ようと思いました。それから主人と2人、相談役に付いて全国掃除行脚、ブラジル10回、台湾、中国にも行きました。

おかげさまで、公私とも楽しく元気です。掃除を継続することの大ささを教えていただきました。相談役に出逢えて大きな幸せをいたしました。

(581 0016 大阪府八尾市八尾木北2-16瓢月堂)

# 掃除に学んだ生き方

京都府 川浪 光治

生方を拝見し、直感的に自分に足りないものがここにあると感じた。そこで見た光景、先生方との対話、行動に感化されたことは間違いない。

学びと並行して掃除を実践。

掃除の時間は自分自身と向き合ふい対話する時間となつた。しかし、自分が求めるような答えはない、現実は変わらない、掃除を続けて意味があるのか、自問自答を繰り返す日々であつた。

葛藤が続くなかで、ある日ふ

と気が付いた。公私ともに「無我夢中」で人のために邁進してきたつもりであつたが、それは「自我

夢中」であったのだ。地位や名譽にこだわり、こうあるべきだ、こうすべきだと自分自身の考えを照らすような行動を決意され、いつしか輪が広がっていくものだ」

これからも掃除を通して、「一隅を照らす生き方」を求めて続けた

のだと。心と魂を磨き、真の自己を見出して言葉や体から光を放ち、世を照らすような人間にならなければいけないと、改心するきっかけを掃除は与えてくれた。

最近学んだ言葉に「一燈照隅、

万燈照国」（天台宗 最澄）がある。この言葉を、安岡正篤先生は解説している。「人が振り向こうが振り向くまいが、それは問題ではない。ただ、一途に自分の真心を尽くす。その一隅を照らす行動に励まされた人々が、自分も一隅

（615  
8227 京都府京都市西京区上桂宮ノ後町23-7）

## 職場を変えた掃除道

沖縄県

川畠 文夫



際に自分でトイレを磨く人は多くはないません。私もその一人でした。鍵山相談役の生き方や行動は、そんな私の人生を変えるほど衝撃を与えるました。

30年前、私はトイレ掃除は事務の女性社員がするのが当たり前だと思っており、汚れていても気にもしませんでした。そんなとき、掃除に学ぶ会に参加する機会がありました。

目の前で便器に手を突っ込み、真剣に汚れと格闘する方を見て、「なんなんだ、これは！」と恐怖に近い驚きを覚え、言葉が出ませんでした。そしてその多くが経営者と聞いて、さらに驚きました！ リーダーの指示のまま便器を磨き、きれいになつたときのすがすがしさや達成感は忘れられません。

いま私の会社では、良い職場はまずきれいなトイレからという思いで、トイレ掃除は男女を問わず、気づいた人が行っています。私は強制したことはありません。

社長の私は、工場のトイレで朝5時から毎日1時間みがいていました。12年を過ぎたころ、今は部長になった当時作業員の男性が手を上げ、彼が毎日便器を磨くようになりました。そこで私は、会社周辺の清掃を日課としています。

一度のトイレ掃除との出会いが、わが社のあるべき姿や考え方、企業観まで変えてしまいました。感謝です。次の若い世代に掃除に学ぶ心を伝えていきたいです。

1990年、倫理法人会の有志と「沖縄中部掃除に学ぶ会」を立ち上げました。この30年間で、学校を中心に100回以上活動しました。今はコロナ禍で、毎月地域の公民館で10人程度の活動を続けています。

トイレをきれいにすることの大しさをいう人は多いですが、実

(株)ローヤル鍵山秀三郎  
創業社長様の真髓

静岡県 金原 一平



ておりました。

その評判を聞くにつけ、紹介者の船井総研三上元コンサルタントと、その早朝からの現場見学のチャンスを得ることができました。

「企業の真の力と使命は理念と教育にあり」との考え方には共感を覚えるもので、この実践者こそが(株)ローヤルの鍵山社長であり、経営者の鏡であると感得した次第です。

弊社は、制服類の企画製造販

30年前の1993年1月20日に  
私の鍵山秀三郎様とのご縁は、  
さかのぼります。

鍵山様は当時(株)ローヤルの社長であり、全社員が日々早朝から始業までの間、会社のトイレから社内、そして周辺の道路を2キロに及んで、徹底した清掃をされ

売をする会社ですが、爾來朝の社内掃除と近隣地域での日々清掃の習慣を、社風にまで高める全社員の一丸態勢を以て8年が経過しました。

そして21世紀スタートの年、  
2001年(平成13年)に磐田掃

除に学ぶ会の事務局を社内に設け、社長自らが磐田掃除に学ぶ会の代表世話人の役目を担い、晴れて文化の日11月3日を選んで、念願の第1回磐田掃除に学ぶ会発足記念大会の開催の運びとなりました。

当日は磐田市立磐田北小学校を会場に、全国から関係者が集合し、鍵山秀三郎様には日本を美しくする会会長として「大きな努力で小さな成果」のテーマでご講演をお願いしました。

翌4日は、250名の掃除実習大会を大成功裏に終えることができました。そのときの感激は今でも脳裏に焼き付いて、生涯忘れ得ない想い出の一コマです。

(438 0086 静岡県磐田市見付 2426-66)

## わが使命に気づいた 人生感動の日

福井県

松木

延倫



の心を荒ませる悪循環を断ち切  
ることが私の使命です」と話され  
ました。

私は土地家屋調査士で、境界  
線・地境を扱う仕事です。境界の  
紛争は、まさに正しさと正しさの  
激突です。私は以前から、もし  
互いが相手の正しさを理解し受  
け入れることができれば、紛争も  
解決するという思いがありまし  
た。戦争や争いも同じです。

「人の心を荒ませる悪循環を断  
ち切る＝鍵山さんの使命」、この  
言葉で、「お互いの正しさを主張  
する悪循環を断ち切る」のが私の  
使命と気づいたのです。

最初にお会いした第6回志  
秀三郎さんとの出会いでもあり  
ます。

最初にお会いした第6回志  
秀三郎さんとの出会いでもあり  
ます。

ネットワーク全国会議で、「私は、  
『人を喜ばす』、『譲る』、『掃除』の  
三つをこころがけてきました。人

鍵山さんとのご縁がきっかけ  
となり、あちこちの掃除の会に  
参加させていただき、掃除の手  
順や道具の使い方に圧倒され、  
2001年「福井掃除に学ぶ会」  
を立ち上げました。

続けていたら、掃除道具や手  
順の整理・整頓が、身のまわりの  
「いるものを残し、いらないもの  
を捨て、順序正しく片付ける」習  
慣を作り、「今、何をすべきか」、  
「すべきでないのか」、順番を考え  
て行動するようになり、掃除が  
私の人生を変えました。

イギリスに「ミルクを飲む人よ  
りも、ミルクを運ぶ人のほうが健  
康になる」という諺があります。  
日々、それを実感させてくれるの  
が「福井掃除に学ぶ会」です。

## 教師の生き方を学んだ 鍵山相談役との出会い

山口県 三好 祐司



回の新宿街頭清掃に参加するようになりました。著書を片端から読み、鍵山秀三郎氏の生き方を学ぶ中で、私の教師像が大きく変わつていきました。

それは、高い教育技術を身につけることではなく、教師が下坐に下りて謙虚に学ぶことが大切である。つまり「人を磨いてやる」ではなく、教師自らが「自分を磨く」という考え方でした。

東京勤務を終え、2007年故郷山口県に帰り、再び教壇に立つたとき、鍵山相談役から学んだことを具現化するよう心がけました。赴任した柳井市立大畠中学校で、鍵山相談役に生徒に話を聞いていただきました。すると、私の前に自分の目標に向かって素直に取り組む子どもたちが

教育正常化を掲げる教職員団体「全日本教職員連盟」の委員長だった東京在勤の2004年、鍵山相談役とお会いしました。

「この方の近くで時間を過ごしたい」と思うようになり、月に1

いました。

教頭を経て、再び大畠中学校校長として赴任したときには、掃除に本気で取り組む子どもたちの姿が伝統となっていました。

結局、教師の役割は子どもにテストで高い点数を取らせたり、良い学校に入れたり、自分の利益だけを考えることではなく、「他者のため、国のために、未来の人のために生きる人間を育てる」ことでした。この大切な教えを鍵山相談役から学びました。

相談役と出会つていなかつたら、私は自分の実績をひけらかすだけの傲慢でつまらない教師になつていていたでしよう。相談役との出会いは、人生の宝物であったと、しみじみ思います。

## 「成功するかどうか」は準備で決まる

新潟県 村山 寿浩



そんな自分の事務局に対する認識を、大きく変える出来事が起きました。それは、2008年「第3回関東ブロック大会」が、十日町開催と決まったことでした。

私は、第2回関東ブロック大会(東京)に参加して、事務局の仕事を新上政広さんや千種敏夫さんに教えていただきました。

校との連絡、日程調整、参加者募集、参加受付、宿泊手配、班分け、道具準備、プログラム、名簿作成、役割分担などなど、膨大かつ緻密な内容でした。

これらのことを探るにつけて、自分にできるだろうかと不安になりました。大会が近づくにつれ緊張しましたが、しかし新上さん、千種さんはじめ関東ブロック関

係者のお支えで、大会を無事終えることができました。

私が一番学んだことは、「成功するかどうかは、準備で決まる」ということです。自分に経験のないことも、皆さまの力を借りればできるということも、自信になりました。

そして、お世話をなった方々に恩返しをしたいという気持ちが芽生えてきて、各地の大会や台湾の大会にも、積極的に参加させていただきました。

私は成長の機会を与えていただいた当社社長、そして多くの人たちの支えがあつて、今の自分がいることに気付かされます。掃除は、丁寧に生きていく上で欠かすことのできないことだと実感しています。

新潟県十日町の、株村山土建に勤務しています。2003年「十日町掃除に学ぶ会」の事務局を引き受けましたが、私は言われたままの道具の準備、当日の受付などを行なつてはいるだけでいた。当日不足のものが出でてきても、淡々とやつていました。

係者のお支えで、大会を無事終

(48 0031新潟県十日町市山本町1丁目71-2)